

4:20 ユダとイスラエルの人々は海辺の砂のようになくなり、食べたり飲んだりして、楽しんでいた。

4:21 ソロモンは、あの大河からペリシテ人の地、さらにエジプトの国境に至る、すべての王国を支配した。これらの王国は、ソロモンの一生の間、貢ぎ物を持って来て彼に仕えた。

4:22 ソロモンの一日分の食糧は、上質の小麦粉三十コル、小麦粉六十コル。

4:23 それに、肥えた牛十頭、放牧の牛二十頭、羊百匹。そのほか、雄鹿、かもしか、のろ鹿、そして肥えた鳥であった。

4:24 これはソロモンが、あの大河の西側、ティフサフからガザまでの全土、すなわち大河の西側のすべての王たちを支配し、周辺のすべての地方に平和があったからである。

4:25 ユダとイスラエルは、ソロモンの治世中、ダンからベエル・シエバに至るまでのどこでも、それぞれ自分のぶどうの木の下や、いちじくの木の下で安心して暮らした。

4:26 ソロモンは、戦車用の馬のために馬屋四万、騎兵一万二千を持っていった。

4:27 守護たちはそれぞれ自分の当番月に、ソロモン王、およびソロモン王の食卓に連なるすべての者たちのために食糧を納め、不足させなかった。

4:28 また彼らは、引き馬や早馬のために、それぞれ割り当てにしたがって、所定の場所で大麦と藁を持って来た。

4:29 神は、ソロモンに非常に豊かな知恵と英知と、海辺の砂浜のように広い心を与えられた。

4:30 ソロモンの知恵は、東のすべての人々の

知恵と、エジプト人のすべての知恵にまさっていた。

4:31 彼は、どの人よりも、すなわち、エズラフ人エタンや、マホルの息子たちのヘマン、カルコル、ダルダよりも知恵があった。そのため、彼の名声は周辺のすべての国々に広まった。

4:32 ソロモンは三千の箴言を語り、彼の歌は千五首もあった。

4:33 彼は、レバノンにある杉の木から、石垣に生えるヒソプに至るまでの草木について語り、獣、鳥、這うもの、そして魚についても語った。

4:34 彼の知恵のうわさを聞いた世界のすべての王たちのもとから、あらゆる国の人々が、ソロモンの知恵を聞くためにやって来た。

ダビデの治世では許可されなかった、神殿造りが始まりました。ダビデよりもソロモンが優っていたからとは書いてはいません。ただ、今は国力が増し、周辺国も協力的で、神殿建設の事業のチャンスとなりました。

このように主のみざわりには、表面的にやりたいかどうかという事よりも、深い摂理があるのです。これまでの主のみざりにも摂理を発見して、それが主の主権と知恵によってなされたことを発見しましょう。そして感謝し、主をあがめ、何よりも主のご計画に参加していきましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたなどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

